【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和2年1月16日(2020.1.16)

【公開番号】特開2019-190627(P2019-190627A)
【公開日】令和1年10月31日(2019.10.31)
【年通号数】公開・登録公報2019-044
【出願番号】特願2018-87250(P2018-87250)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　25/22　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　45/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　27/14　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　33/37　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　25/22　Ｌ
Ｂ２９Ｃ　45/00
Ｃ０８Ｌ　27/14
Ｆ１６Ｃ　33/37

【手続補正書】
【提出日】令和1年11月29日(2019.11.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いに隣り合って連動する二つの球体の間に介在して前記球体を連動可能に、かつ互いに隔てて保持するための分離体であって、
上記分離体は、フッ化ビニリデンを主成分とするモノマーの重合体であるフッ素樹脂を含む樹脂組成物から形成されており、
前記樹脂組成物の曲げ弾性率は、１６００ＭＰａ以下であり、
前記樹脂組成物のシャルピー衝撃強度は、２６ｋＪ／ｍ^{2}以上であることを特徴とする分離体。
【請求項２】
前記フッ素樹脂は、前記モノマーとしてフッ化ビニリデン以外の含ハロゲンモノマーをさらに含むポリフッ化ビニリデン系共重合体であることを特徴とする請求項１に記載の分離体。
【請求項３】
前記含ハロゲンモノマーは、ヘキサフルオロプロピレンを含むことを特徴とする請求項２に記載の分離体。
【請求項４】
前記フッ素樹脂は、ポリフッ化ビニリデン系共重合体とポリフッ化ビニリデンとを含むことを特徴とする請求項１に記載の分離体。
【請求項５】
連動可能に配置されている二以上の球体と、隣り合う前記球体の間に介在して前記球体を連動可能に、かつ互いに隔てて保持している請求項１から４のいずれか１項に記載の分離体と、を有していることを特徴とする機械要素。
【請求項６】

第１部材と、前記第１部材に接して相対的に移動可能に配置されている第２部材とを有し、
請求項５に記載の機械要素が、前記第１部材および前記第２部材の少なくとも一方における互いに接触する箇所に配置されていることを特徴とする運動ガイド装置。
【請求項７】
ボールねじであることを特徴とする請求項６に記載の運動ガイド装置。
【請求項８】
請求項６または７に記載の運動ガイド装置を備えていることを特徴とする産業用機械。